

# CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



## ロンドン事務所

### 日英の地方行政に関する取り組みを紹介する「JLGC セミナー」を開催

クレアロンドン事務所では、日英両国の地方行政に関する取り組みや課題を紹介し相互理解を深めるため、JLGC セミナーを毎年開催している。2018年に愛知県豊田市とダービーシャー県、ダービー市、南ダービーシャー市が姉妹都市提携20周年を迎えたことを記念し、2月1日にダービー市において、地域自治体・経済・中小企業関係者などを招き、地域経済の活性化に向けた日本企業との関係強化策をテーマにJLGC セミナーを開催した。

はじめに、豊田市から、1989年にトヨタ自動車の英国工場がダービーシャーのバーナストーン地区に設立されたことをきっかけに、1998年11月姉妹都市提携を結び、2018年で20周年を迎えたこと、また同市は教育、文化、産業、スポーツなどのさまざまな分野でダービーシャーと交流事業を実施していること、そして、2019年は豊田スタジアムでラグビーワールドカップ4試合が開催されるほか、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では英国チームのホストタウンの1つになっていることが報告された。

続いて、JET 経験者であり、英国、日本、米国、中国、韓国で、企業の海外進出・販路開拓支援などを行うビジネスコンサルタント会社を経営する Gregory Sutch 氏によるオープンイノベーションの現状に関する講演や、ダービーシャー地域企業および自治体関係者らによるパネルディスカッション、そして、ロンドンにある Ashurst London Office (法律事務所) の岩村浩幸氏からの在英日系企業が直面する法律問題に関するアドバイスが行われた。

セミナーにはダービーシャー地域の中小企業および英国の自治体関係者ら約80人が出席した。



パネルディスカッションの登壇者



会場全体の様子



## シドニー事務所

### カウラ多文化祭開催

3月15日から17日にかけて、シドニーの320km西に位置するカウラ市で、カウラ多文化祭が開催されました。このイベントは、国際理解をテーマとしたコミュニティイベントとして、1965年から毎年開催されています。毎年異なるゲスト国を選び、ゲスト国に関連したパレード、ステージパフォーマンスなどを行うことで、参加者はさまざまな国の伝統・文化を体験し、理解を深めることができます。今年のゲスト国には日本が選ばれました。これは1966年以来2度目のことです。クレアシドニー事務所は、当イベントにブース出展し、カウラ市と平和友好交流を進める新潟県上越市をはじめとする日本の地方自治体のPR活動を行いました。

かつてカウラ市には、第二次世界大戦時に捕虜収容所が置かれていました。1944年8月5日、収容されていた日本人捕虜の脱走事件(カウラブレイクアウト)が発生し、231人の日本人捕虜と4人のオーストラリア衛兵が亡くなりました。カウラブレイクアウトの犠牲者の墓地は、戦後しばらく放置されていましたが、カウラ退役軍人会により維持管理されるようになり、その後、在オーストラリア日本国大使館、カウラ市、オーストラリア連邦政府の協力のもと、日本人戦没者墓地として適切に管理されています。今では、カウラ市は、オーストラリアと日本の良好な関係を象徴するまちとなっています。

本年は、カウラブレイクアウト75周年の行事が予定されています。上越市にも第二次世界大戦時に捕虜収容所があり、そこで多くの方が亡くなったという歴史があります。

クレアシドニー事務所は、平和を願う両市の交流を引き続き支援してまいります。



ブースにてPRを行うシドニー事務所職員



カウラ多文化祭のパレードの様子



## ニューヨーク事務所

### JET 経験者による 姉妹都市連携のサポート事例を紹介

3月27日にテキサス州サンアントニオ市において、日本と米国の友好と協力関係の強化を目的に「日本・テキサスリーダーシップシンポジウム」が初めて開催されました。当事務所からはギラム上級調査員が出席し、地域レベルの二国間連携の事例として、ノーザンカリフォルニアやシアトル、カンザスシティなどのJET経験者が交換留学サポートなどで活発に姉妹都市関係の強化に携わっている各種事例を紹介しました。

自治体関係者からは早速JET経験者たちとコンタクトを取りたいという依頼も受け、日米関係の強化におけるJET経験者の今後の活躍が一層期待されます。



Courtesy of Fred Gonzalez, City of San Antonio.  
JET 経験者の活動を紹介する  
ギラム上級調査員

### 祭りとスポーツを切り口に 大学で地方の魅力を講演

4月16日、ニュージャージー州にあるウィリアム・パターソン大学で、同大学の学生を対象に宮城県から派遣されている当事務所職員が講演を行いました。前月の広島市からの派遣職員による講演に続き2回目となる今回の講演では、「祭りとスポーツに見る宮城」と題し、「仙台七夕祭り」や宮城のウィンタースポーツなどを紹介しました。特に七夕祭りについては、東北各地の夏祭りに触れながらその歴史や特徴を紹介し、学生からは七夕飾りや宮城への旅行時期などに関する質問が多数寄せられました。



講演の様子



## シンガポール事務所

### シンガポールの「さくらまつり」で日本各地の魅力を PR !

3月9日から17日まで、シンガポールの植物園「ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ」で、桜をテーマにしたイベント「さくらまつり」が開催されました。クリアシンガポール事務所では、在シンガポール日本国大使館や JNTO などと共同設置したオールジャパンブースで、日本各地の魅力を PR しました。

期間中は、シンガポール人をはじめ、欧米などからの旅行者がブースを訪れ、日本各地の桜の開花時期や周遊ルートなどさまざまな問い合わせがあり、訪日旅行の関心の高さがうかがえました。また、会場では満開に咲き誇った桜が訪日旅行の意欲を喚起させ、相乗効果にもなっていたようです。特に、美しい花や雄大な山といった自然の景勝地が楽しめる訪問先の情報を求める来場者が多く、滞在日数が長い外国人旅行者にとって、大都市にはない地方の魅力あるコンテンツは、大きな関心の要素になっています。

近年の訪日外国人旅行者のリピーター化とともに、地方への観光ニーズは益々高まっていくことが予想され、地域の魅力ある観光資源を磨き、独自性を出していくことが誘客の鍵になると考えられます。



日本各地の観光情報を PR



満開の桜が来場者を魅了



## ソウル事務所

### 2019 年度新規韓国人 JET 参加者を壮行

3月23日、在韓日本国大使館公報文化院で、2019年度新規韓国人JET参加者オリエンテーションおよび歓送会が開催され、15人の新規韓国人JET参加者が出席しました。

オリエンテーションでは、JETAA（元JET参加者の会）大韓民国支部より自身の経験に基づく「国際交流員の業務」、「国際交流員の生活（異文化理解など）」についてのアドバイス、JETAA大韓民国支部活動の紹介がありました。

質疑の時間には、新規韓国人JET参加者から、日本での生活や、任用先での韓国語講座の進め方など、具体的な質問が多くあがり、先輩たちのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。最後にJETAA大韓民国支部から、韓国語講座や料理教室で使える韓国語教材や韓服風エプロンのプレゼントもあり、4月からの日本における活動を具体的にイメージできる良い機会になったのではないかと思います。

続く歓送会では、新規韓国人JET参加者15人が、それぞれ熱意あふれる自己紹介を披露し、今後日本での活躍に対する期待がさらに高まりました。

クリアソウル事務所としても、今回の新規韓国人JET参加者やJETAA大韓民国支部の皆様などJET関係者とのつながりをより一層強化していきたいと考えております。



オリエンテーションの様子



新規韓国人JET参加者15人とJETAA大韓民国支部



## 北京事務所

### 中国の JET 青年たちが日本各地へと旅立ちました！

4月13日、北京市の在中国日本国大使館において、新たに JET プログラムに参加する 42 人のために、渡航前オリエンテーションと壮行会が開催されました。

オリエンテーションでは、クレア北京事務所長が講演を行い、新規参加者は日本の地方自治制度などについて学びました。

その後開催された壮行会に出席した河野太郎外務大臣は、2019 年が「日中青少年交流推進年」であることを紹介し、「新規参加者が日本の多くの人々と触れ合い、また、出身の中国の様子や魅力を伝えることで、日中両国の懸け橋となることを期待しています」と激励の言葉を贈られました。また、新規参加者の代表からは「JET の活動が日中青少年交流の新しい段階の第一歩となるよう努力したい」との決意表明がありました。

新規参加者は、これから各地方自治体において日中友好交流・日中青少年交流の発展を担う存在として活躍することが期待されます。



クレア北京事務所長の講演の様子



河野太郎外務大臣と新規参加者との集合写真

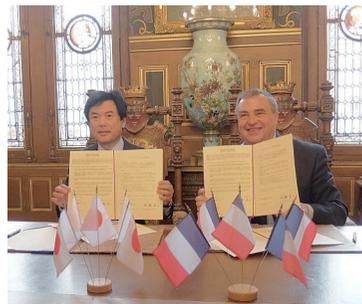


## パリ事務所

### オルレアン市・宇都宮市姉妹都市提携 30 周年式典 - 日本週間で自治体を PR -

5月6日から8日まで、オルレアン市と宇都宮市との姉妹都市提携 30 周年を記念し、佐藤 宇都宮市長が約 30 人の市民訪問団とともに、パリから 1 時間ほど南にあるオルレアン市を訪れました。記念式典では、これまでの長きにわたる交流の歴史を振り返るとともに、カレ オルレアン市長と姉妹都市提携確認書を交わし、さらなる交流の進展を誓いました。また、その他の 11 姉妹友好都市も参加した会議では、カレ オルレアン市長から、姉妹友好都市による、持続可能な開発や文化、観光など 5 テーマでの政策フォーラム設立も提案され、今後の姉妹都市関係の発展が期待されます。

3月11日から6月15日には、日本に関する「春、桜花爛漫 (Un Printemps sous les SAKURA)」イベントも開催され、その一環として、東日本大震災への復興支援を目的に始まった Semaine du JAPON (日本週間) が 3月11日から17日まで行われました。クレアパリ事務所は、同イベントにブースを出展し、宇都宮市をはじめ日本各地の自治体の PR を行いました。引き続き、日仏自治体交流支援や自治体の情報発信を行っていきます。



今後の交流の進展を誓う佐藤 宇都宮市長・カレ オルレアン市長



日本の各都市の位置を確認する来場者



## JET プログラム事業部

### 118 人の新規 JET プログラム参加者が来日！ 4 月の来日直後オリエンテーションを開催しました

4月から全国各地の任用団体に配置される新規 JET プログラム参加者に対するオリエンテーションを、4月15日から17日の3日間にわたって開催しました。

JET プログラムでは、世界各国から ALT (外国語指導助手)、CIR (国際交流員)、SEA (スポーツ国際交流員) を招致して全国に配置しており、2018 年度には約 5,500 人が語学指導や地域の国際交流活動に従事しています。

このたび、8 か国 (アメリカ、イギリス、オーストラリア、カナダ、中国、韓国、ブラジル、ペルー) から 118 人の新規 JET プログラム参加者が来日し、研修を受講しました。

研修では、組織や地域に参加する心構えや日本のマナーから、学校での指導方法や翻訳・通訳業務のノウハウといった実践的な知識まで幅広く取り扱いました。

3 日間の研修を終えた参加者は、新しい土地での生活に緊張しつつも、期待を抱いて各任用団体の元へ旅立ちました。今後の皆さんのご活躍を期待しています。



開会式の様子



分科会の様子

## 多文化共生課

### 弘前市で外国人観光客を想定した避難誘導訓練が実施されました！

4月11日、青森県弘前市で4月20日から始まる弘前さくらまつりに備えた外国人観光客の避難誘導訓練（弘前市／弘前大学／青森県国際交流協会共催、協力：クリア）が実施されました。訓練は、まつりの最中に震度6弱の地震が発生した想定で、弘前大学佐藤和之教授が監修する「やさしい日本語」を学んだ市職員と観光ボランティアが誘導役として、来日間もないベトナム人技能実習生が観光客役として参加。防災無線の音声や誘導員が持つボードの文字にも「やさしい日本語」が使われ、避難所ではクリアが作成した避難者登録カード（ベトナム語版）が活用されました。実習生からは「難しい言葉はわからないが、訓練の日本語はわかって逃げられた」、誘導役の日本人からは「日本語でも伝わるとわかり安心した」との声も。訓練を通して、災害時の避難誘導における「やさしい日本語」活用の可能性を感じました。引き続き自治体などの災害時外国人支援の取り組みを支援してまいります！



「やさしい日本語」を使用し  
た誘導



ベトナム語版の避難者登録  
カードに記入

## 経済交流課

### プロモーションアドバイザー事業の紹介

海外プロモーションについて専門知識を有する「プロモーションアドバイザー」を希望する自治体に派遣します（1事業につき最大2回まで、派遣に係る経費をクリアが負担）。自治体の現場でのプロモーションの企画段階（市場調査、事業戦略）において、相談対応や専門的な助言・情報提供を行っています。派遣申請は随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

#### ■プロモーションアドバイザーの専門および得意分野

- 海外販路開拓
  - ・地場産品の輸出支援 ・地元企業の海外進出支援 等
- インバウンド観光支援
  - ・訪日外国人向けWEBサイト運営やフリーマガジン発行による海外プロモーション
  - ・外国人向けメディアコンテンツの作成や情報発信
  - ・イスラム教徒向け宿泊サイト運営、ハラール対応コンサルティング 等
- 文化発信と伝統技術活用
  - ・自治体を持つ文化や伝統技術のブランディング・事業プロデュース ・和食や伝統芸能による海外プロモーション 等

■プロモーションアドバイザー事業について詳しくはHPをご覧ください。<http://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/>  
※7月中旬頃に、ネットワーク構築の場としてアドバイザーとの意見交換会（東京）の実施を予定しております。詳細は追って、HPに掲載いたしますので、ぜひご参加ください。

■お問い合わせ 経済交流課 Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



アドバイザーとの意見交換の様子（南魚沼市）

## 交流親善課

### 第21回日中韓3か国地方政府交流会議を“愛媛県”で開催します！

「日中韓3か国地方政府交流会議」は、歴史的、地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的に、毎年、3か国の国際交流機関が輪番で開催している会議です。

今回は、2019年10月28日から31日の日程で、「北東アジア地方政府における地域資源を活かした魅力の創造」をメインテーマに、3か国の自治体による講演やパネルディスカッションのほか、愛媛県内の視察を行います。

会議の詳細や参加登録の方法などは、クリアのホームページ（<http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/index.html>）で、順次お知らせしていきます。多くの自治体関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

## 市民国際プラザ

### 自治体、NGO/NPO などとの連携相談や、国際協力、多文化共生に関する情報を発信しています

市民国際プラザにはNPO法人国際協力NGOセンター（JANIC）のコーディネーターが常駐し、地域における国際協力、多文化共生の活動が推進されることを目的に、自治体、NGO/NPOなどの連携を支援しており、メールや電話による対応も行っています。

地域の国際化に関わるちょっとしたお問い合わせやご相談でも結構です。お気軽にご連絡ください。国際協力、多文化共生などに関する各種情報の発信、セミナーの開催も行っています。ホームページ

やSNSも是非ご覧ください。 [市民国際プラザ](#) [検索](#)  
連絡先 Mail：international\_cooperation@plaza-clair.jp

HP： <http://www.plaza-clair.jp/>

Facebook： <https://www.facebook.com/Siminkokusaiplaza.janic/>

Twitter： [https://twitter.com/janic\\_plaza](https://twitter.com/janic_plaza) メールマガ： <http://www.plaza-clair.jp/lib/mailmagazine.html>



市民国際プラザはクリア  
と同じビルの1階にあり  
ます